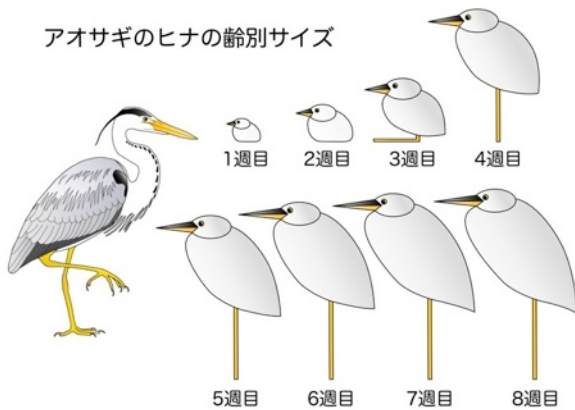


# アオサギ観察会

2014年6月20日

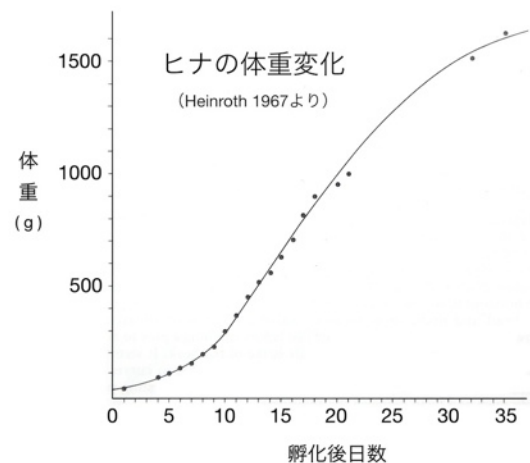
巣立ちまで秒読み！

アオサギのヒナの齢別サイズ



例年、札幌近辺のコロニーでは4月末に最初のヒナが生まれます。それからすでに50数日。そろそろ飛びはじめてもおかしくない頃ですね。それにしても、あんな小さな卵が50日ほどで親鳥と変わらない大きさに成長するので驚きです。もっとも、ヒナは生まれてから巣立つまでいつも同じ割合で成長しているわけではありません。日に日に目に見えて大きくなるのは孵化後4週目頃までなのです。

体重の変化を見ると、5週目が終わる頃には1,500gを超えるまでになっています。成鳥の平均体重がそのぐらいですから、体重だけで見ると5週目ですでに親鳥と変わらない大きさになっているわけです。この調子で成長すればどこまで巨大になるのかと心配になりますが、これ以降はそんなに大きくなりません。5週目頃には骨格はほぼ完成されているようです。



では、5週目以降は何が変わるのでしょうか？

じつはこの時期は翼がまだ全然伸びきっていないのですね。左の写真は4週目と推定されるヒナの翼。ちょうど日光浴しているところで、見えているのは翼の内側（下面）です。

水色のストロー

状に見えるのが羽鞘で、これが少しずつ碎けて中から風切羽が伸展してくるわけです。最初は尻すぼみな体形も風切羽が伸びてくるとだんだん精悍な体形に変わってきます。右の写真はすでに風切羽が生え揃った状態。こうなるともうヒナとは呼べませんね。立派な幼鳥です。

